

平成29年度予算

子育て、教育に重点を置いた予算編成

平成29年度の予算が決定しました。この予算の概要と、子育て、教育をはじめ、都市整備や産業振興など、各分野の主な事業について紹介します。

問合先 財政課財政担当

国では、アベノミクスが第2ステージに移り、我が国の構造的な問題である少子高齢化の解決に向けた各施策が実施されています。

市においても、高齢化の急速な進行と生産年齢人口および年少人口の減少、それに伴う地域活力の低下などへの対応が大きな課題となっています。このため、将来の鶴ヶ島市の発展に向けて、子育て、教育に重点を置いた予算編成を行いました。

新たな子育て支援

まず、安心して子どもを産み育てていくために、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を、「鶴ヶ島版ネウボラ」（詳しくは、6、7頁）として構築します。

その一環として、特定不妊治療費の助成や、助産院などへの母子ショートステイによる宿泊型産後ケア、子どものショートステイ、小規模保育事業、病児保育事業などの新規事業を加え、子育て支援サービスを充実します。

学校の教育環境向上

学校教育では、ICT教育の環境の整備を推進します。また、新たに土曜学習会の開催や、小中一貫教育モデル校の指定、学び合いの学習を取り入れた授業改善など、児童・生徒の学力の向上に努めます。

学校施設は、以前より課題であった学校のトイレ改修を進め、洋式トイレを増やします。

地域の魅力創出

企業誘致や雇用の確保、地域資源を活かした特産品の創出、自然環境などを活用した地域の魅力の創出などを進めます。

これらの取組を通じて市の魅力を効果的に発信し、交流人口の増加や若い世代の定住に結び付けていきます。

また、地域支え合い協議会の活動を支援するとともに、地域づくりの拠点となる市民センターの機能拡大を図ります。並行して、地域づくりの担い手の育成や地域活動に参加しやすい環境づくりなどに取り組み、地域包括ケアシステムの基礎づくりを着実に進めていきます。

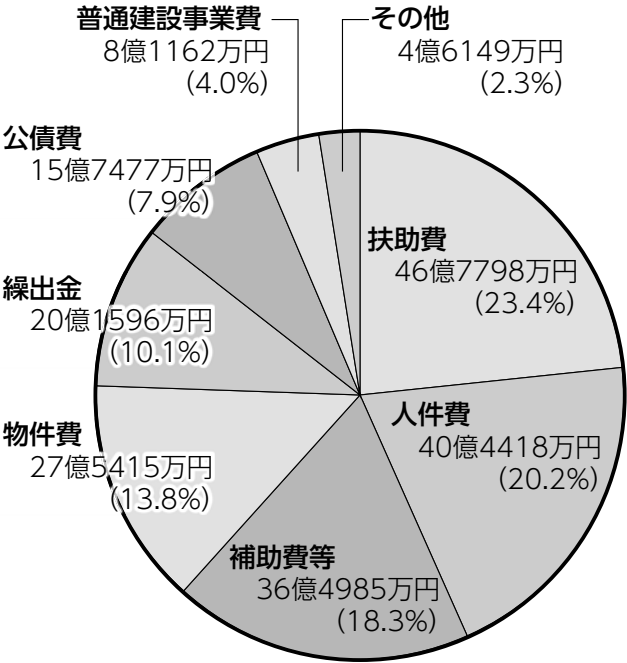
平成29年度予算

一般会計

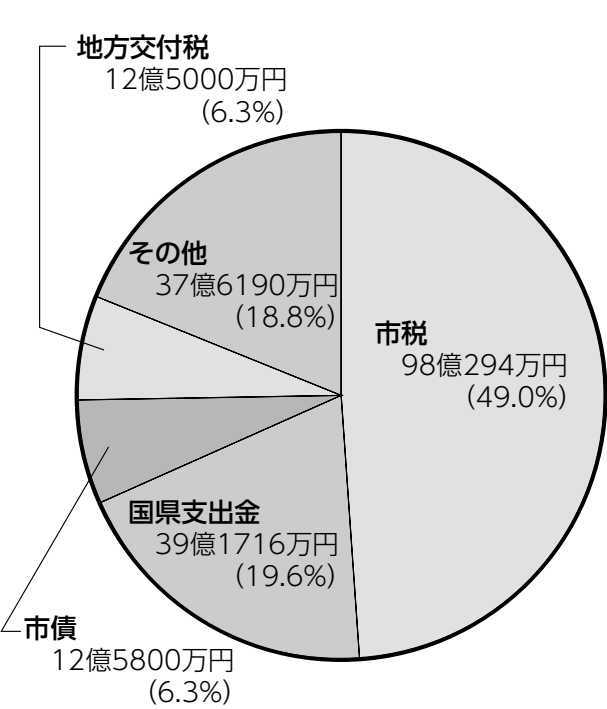
199億9000万円

福祉や教育、道路の整備などの基礎的な行政サービスを行う会計です。

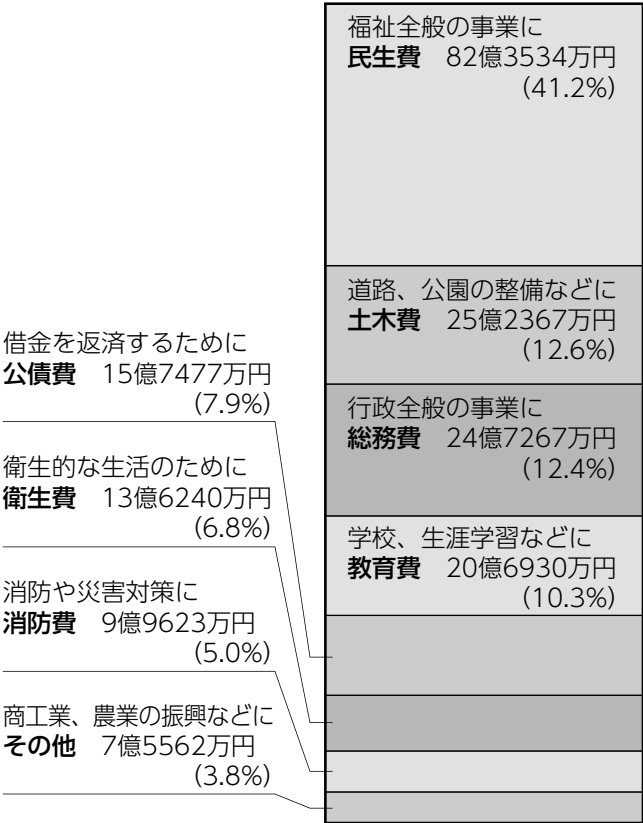
歳出(性質別)



歳入



歳出(目的別)



特別会計

146億8522万円

特定の歳入・歳出をもって一般会計とは経理を別にする会計です。鶴ヶ島市は、5つの特別会計があります。

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	89億1027万円	2.0%
後期高齢者医療	6億2998万円	6.6%
介護保険	42億9387万円	14.3%
一本松土地区画整理事業	4億8205万円	25.6%
若葉駅西口土地区画整理事業	3億6905万円	6.6%

会計別の予算額

区分	予算額	前年度比
一般会計	199億9000万円	2.7%
特別会計	146億8522万円	6.3%
合計	346億7522万円	4.2%

主な事業の 概要と予算額

新 新規の事業

ふ ふるさと納税の充当事業

※ふるさと納税制度による寄附金を寄附者の意向を反映して充当する事業です。

健やかで安心できるまち(健康・福祉・安心安全)

地域医療体制整備事業 4174万円

いつでも適切な医療が受けられるよう、救急医療体制の整備と地域医療の充実を図ります。当番医制を終了し、地域医療センター内の休日急患診療所で急患の対応をすることで、安定した初期救急医療体制を確立します。



新 母子健康包括支援事業 313万円

産前・産後の様々な悩みに対応するため、母子保健コーディネーターなどが相談支援を実施し、妊娠期から子育て期に渡るまで切れ目のない支援を提供していきます。

新 不妊治療費助成事業 315万円

特定不妊治療(体外受精および顕微授精)に要する費用の一部を助成し、経済的な負担を軽減します。

防災訓練等実施事業 1925万円

埼玉県と共催で第38回九都県市合同防災訓練を開催します。防災関係機関相互の連携協力体制の充実・強化と、市民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を図ります。

新 防災行政無線デジタル化推進事業 490万円

災害時の緊急放送を市民に迅速に周知するため、防災行政無線のアナログ方式からデジタル方式への移行に向けた調査設計を行います。

活力に満ちたまち(コミュニティ・市民協働・産業)

ふ 地域支え合い推進事業 1250万円

地域住民が、NPO法人などの市民活動団体、企業などとの連携により、日常の暮らしの中で共に支え合い助け合いながら、地域の課題を地域で解決できる仕組みづくりを支援します。

ふ 市民センター地域活動支援事業 350万円

地域づくりの担い手の発掘・育成に向けた取組や、市民・市民活動団体などの活動を支援し、多様な主体の連携・協働による地域づくりを推進します。

水土里のふるさと推進事業 1085万円

高倉地区に残る屋敷林や水辺、里山などの風景を市民共有の財産として保全・整備する団体が行う活動を支援します。また、地域資源と福祉を活用した「農」の取組を支援します。

ふ ふるさと振興発信事業 3億1367万円

ふるさと納税制度を積極的に活用することにより、シティプロモーションを推進し、市の知名度の向上と産業の活性化を図ります。

ふ 起業・創業支援事業 757万円

商工会との連携のもと、地域における起業者を支援することで開業率の向上を目指し、地域の活性化および雇用の確保を図ります。新たに空き店舗を活用したチャレンジスペースの運営など、起業・創業支援に向けた取組を実施します。

快適に暮らせるまち(環境・都市整備)

一本松地区地区計画住環境整備事業 3億5083万円

一本松地区地区計画区域の良好な居住環境の形成を図るため、道路整備を実施します。

一本松土地区画整理事業(特別会計)

土地区画整理事業に必要な諸整備のほか、一本松駅前交通広場の整備および一本松駅南口通り線(交差点部)の道路工事に着手します。

都市計画道路整備事業 3968万円

埼玉県による埼玉県農業大学校跡地の活用と連動した周辺道路の整備により、跡地活用の促進および円滑な道路網の確保を図ります。

道路交通環境安全対策事業 2564万円

関越自動車道などのボックス内の照明を、視認性の高いLED灯に交換することにより、省エネルギーの推進と温室効果ガスの排出量の抑制を図るとともに、交通安全対策および防犯対策の向上を図ります。

近隣公園施設修繕事業 920万円

開園から30年以上を経過している富士見中央近隣公園のトイレ設備を修繕し、市民の快適な公園利用と機能の向上を図ります。

人を育むまち(子育て・教育・生涯学習)

新 子育て包括相談・支援事業 445万円

子育て支援相談員を配置することにより、安心して子育てできるよう総合相談窓口体制を整備し、子育て支援サービスの利用につなぐ機能の強化と充実を図ります。

新 小規模保育事業 1億1105万円

増加する保育ニーズに対応するため、小規模保育施設(3施設)を開設し、保育ニーズの高い0歳児から2歳児の受け入れ枠(53人分)の拡大を図ります。



新 病児保育事業 1422万円

病気により保育所などでの集団保育が困難なときに、医療機関が設置する専用の施設(五味ヶ谷地内)において一時的に保育を行います。

新 教育系ICT環境推進事業 297万円

ICT教育環境の望ましい姿と関連機器調達のあり方や推進のための組織体制などについての方向性を検討していくにあたり、調査および分析などを行います。

新 小中一貫教育推進事業 5万円

小中学校9年間を通じた教育課程を編成し、それに基づいた系統的な教育を行うため、2年間の小中一貫モデル校を指定して研究発表を行い、取組の成果を市内で共有します。

新 学び合い学習推進事業 14万円

児童・生徒全員の学力を向上させるために、主に「活用する力(思考力、表現力など)の育成」を目指して、学び合いの学習を取り入れた授業改善を進めます。

新 小学校トイレ改修事業(工事) 1億3022万円

設置後30年以上が経過し、老朽化が進んでいる小学校トイレの便器の洋式化を進めるとともに、トイレブース・床などの改修工事を行い、環境の整備を図ります。

小学校学力向上推進事業 1857万円

各小学校に学習支援員(1名)、算数学力向上支援員(3~4名)を配置し、児童の学力の向上および授業の円滑な運営に取り組みます。また、土曜学習会を開催し、参加児童の学力に応じて国語・算数に関する基礎的な知識・技能の確実な定着と活用力や応用力の向上を図ります。